

施策 332

働き続けることができる環境づくり

主担当部局：雇用経済部

県民の皆さんとめざす姿

企業、経済団体、労働団体、行政等が、働き続けることができる環境づくりに向けて主体的に取り組むことにより、働いている人が、性別や年齢等に関わりなくいきいきと働くとともに、家庭生活や社会貢献活動、地域づくり活動なども充実し、仕事と生活を調和させています。

現状と課題

- 県民一人ひとりの自己実現のためには、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進が必要ですが、平成 20（2008）年の金融危機や平成 23（2011）年の東日本大震災の発生による厳しい雇用・経済情勢の影響からその進展が停滞しており、今後、より一層の促進を図ることが求められています。
- 少子高齢社会の進展により、今後ますます生産年齢人口が減少することから、我が国の経済が活力を維持するためには、若者・女性・高齢者などの一層の就労が必要とされています。このため、特に女性が働き続けられる職場環境づくりの促進が求められています。
- 厳しい雇用経済情勢の影響は、賃金・労働条件を含めた勤労者の生活にも及んでいます。このため、勤労者福祉の充実、とりわけセーフティネット機能の充実が求められています。

変革の視点

これまでの労働条件の向上や勤労者福祉の充実を促進する取組に加え、ワーク・ライフ・バランスの推進など、地域社会の一員として積極的に社会へ参画できる基盤づくりを促進するとともに、若年層の早期離職の未然防止対策を進めます。

平成 27 年度末での到達目標

企業等で働き続けることができる環境の整備が進み、勤労者と経営者双方が協力し、ワーク・ライフ・バランス推進のための自主的な取組が増加しています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所の割合	27.1%	37.0%	調査対象事業所（従業者規模 10 人以上 300 人未満の県内事業所から抽出）のうち、「何らかの形でワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる」と回答した事業所の割合

平成 24 年度の取組方向

- ワーク・ライフ・バランス推進のため、企業における取組の普及・啓発を図るとともに、勤労者の社会貢献活動や地域づくり活動への参加などを支援します。
- 男女が共にいきいきと働き続けることができるよう、企業等での職場環境の整備に向けた機運を醸成することに加え、働き方の改革に向けた企業の優れた取組の発掘とその普及・啓発等を行います。
- 働くうえでのルールについての啓発や企業の現場を知る機会の提供等を行うなど、若年者の就職支援および早期離職の未然防止を図ります。
- 労働相談等に関する国との連携を強めるとともに、弁護士相談やメンタル・ヘルス・カウンセリングなど労働に関する各種相談への対応の充実等により、不安を抱えている勤労者等へのセーフティネットとしての支援を行います。

主な事業

① (新) 働き方改革推進事業 (雇用経済部)

【基本事業名：33201 ワーク・ライフ・バランスの推進】

(第5款 労働費 第1項 労政費 3労働福祉費)

当初予算額：(23) ー 千円 → (24) 2, 096千円

事業概要：企業における長時間労働の見直し、仕事と家庭が両立できる労働環境の確保、主体的なワーク・ライフ・バランスの取組などが進展するよう、労使団体、国、市町などさまざまな主体と連携して、企業への普及・啓発等に取り組みます。

② 働きやすい職場づくり事業 (雇用経済部)

【基本事業名：33202 男女が共に働きやすい職場づくり】

(第5款 労働費 第1項 労政費 3労働福祉費)

当初予算額：(23) 3, 333千円 → (24) 2, 734千円

事業概要：男女が共に働きやすい就労環境の整備が進むよう、雇用機会の均等や女性の活躍支援、仕事と生活の調和などを積極的に推進する企業等を認証・表彰するとともに、それらの取組内容等を広く紹介します。

③ 労働者福祉対策資金貸付等事業 (雇用経済部)

【基本事業名：33202 男女が共に働きやすい職場づくり】

(第5款 労働費 第1項 労政費 3労働福祉費)

当初予算額：(23) 1, 333, 998千円 →

(24) 1, 174, 873千円

事業概要：中小・零細企業で働く勤労者が、より質の高いライフスタイルを実現できるよう、住宅、育児・介護等、生活基盤に関わる資金を援助し、勤労者の生活の安定を図ります。(融資枠：中小企業勤労者持家対策資金貸付金4億円、育児・介護休業生活資金貸付金2千万円)

④ 若手人材育成・定着支援事業 (雇用経済部)

【基本事業名：33203 勤労者福祉の推進】

(第5款 労働費 第1項 労政費 3労働福祉費)

当初予算額：(23) 11, 829千円 → (24) 4, 932千円

事業概要：これから就職をめざす若者が職業意識を高め、社会に出る準備ができるよう、「働くルール」の啓発や企業現場を知る機会の提供など、高校生等を支援するとともに、採用された若者を定着させるため、企業の人材育成の取組を支援します。

⑤ ライフ・ワークサポート三重推進事業 (雇用経済部)

【基本事業名：33203 勤労者福祉の推進】

(第5款 労働費 第1項 労政費 2労働教育費)

当初予算額：(23) 12, 584千円 → (24) 12, 830千円

事業概要：労働者および使用者が抱える労働問題の解決に向けて、また、離職者等に対するセーフティネットの一環として、労使などから寄せられるさまざまな相談に対して、専任の相談員などが助言等を行います。